

国立国語研究所・椎葉民俗芸能博物館 共同研究プロジェクト
椎葉方言調査 中間報告会

暮らしをうつす 椎葉の方言

宮崎県椎葉村では、椎葉の方言の辞書を作るために、国立国語研究所*と合同でことばの調査をしています**。今回の中間報告会では、だんだんとわかってきた椎葉の方言の特徴などを、言語学の専門家が、みなさんにお伝えします！

*日本語を研究する国の機関で、東京都立川市にあります。(http://www.ninjal.ac.jp/) **椎葉民俗芸能博物館研究事業(平成26年～30年度、椎葉村)と「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」プロジェクト(国立国語研究所)との共同研究プロジェクト。

入場無料
当日受付

[日時] ▶▶▶ 2018年3月25日(日) 14:00～16:00
13:30開場

[会場] ▶▶▶ 向山日添公民館 峰越の館 ※裏面に地図
〒883-1603 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野907番地2

プログラム

- あいさつ 甲斐 眞后 椎葉村教育委員会 教育長
- プロジェクトの説明「ことばは文化の源」 木部 暢子 国立国語研究所 副所長
- 発表1「宮崎県椎葉村尾前方言のカマデとカマサキ」 新永 悠人 国立国語研究所 特任助教
- 発表2「<あい>の形は集落それぞれ」 坂井 美日 国立国語研究所/日本学術振興会 特別研究員
- 発表3「“かて～り”の由来を探ってみよう」 山本 友美 椎葉民俗芸能博物館 学芸員

発表1～3は約30分ずつ。各発表の最後とプログラムの最後に、質疑応答の時間があります。

お問い合わせ

椎葉民俗芸能博物館(担当 山本 友美)

TEL (0982) 68-7033/(7) 68-7033(村内無料IP電話) FAX (0982) 68-7031

主催:椎葉方言記録作成委員会, 国立国語研究所 後援:椎葉村, 椎葉村教育委員会

写真:椎葉村内各地での聞き取り調査風景



